

※平成27年度当初予算と比較し、**新**は新規事業を、**拡**は拡充した事業を、**継**は継続事業を表します。

1 いのちを大切にすまち

- 拡** ふるさと除染実施事業 …… 962億4,100万円
(生活圏森林や道路・農地などの除染、仮置場の設置など)
- 新** 建築物耐震改修工事助成事業 …… 5,190万円
(防災協定による民間避難施設の耐震改修工事に補助)
- 新** 東北中央自動車道トンネル消防無線整備事業 …… 6,740万円
(国で整備する栗子トンネルに消防無線設備を設置)
- 新** 福島県救急搬送受入支援システム運用事業 …… 2,600万円
(適切・迅速な患者搬送のため県が整備するシステムを導入)
- 拡** 救急医療病院群輪番制運営費補助 …… 9,850万円
(市内12病院により夜間・休日などの二次救急診療体制を確保)
- 継** 障がい者歯科診療事業 …… 670万円
(障がいがある方への歯科診療を週2日実施)
- 拡** 市民後見推進事業 …… 510万円
(認知症高齢者の権利擁護などのため権利擁護センターを設置)

2 女性が活躍できるまち

- 継** 女性の創業応援利子補給事業 …… 160万円
(女性創業者が受けた創業融資の利子を2年間全額補助)
- 新** 児童福祉施設等整備事業 …… 4億6,740万円
(施設の新設・改修により平成29年度215人の定員拡大を目指す)
- 拡** 男女共同参画指導者養成事業 …… 70万円
(「イクボス」などリーダー的人材を養成する講座を開催)

3 こどもと高齢者を大切にすまち

- 継** 子育て世帯応援に係る手当 …… 3億5,800万円
(市独自に中学生以下の子ども1人当たり年額1万円の手当を支給)
- 新** 子育て世代包括支援センター事業 …… 620万円
(切れ目のない子育て支援のため子育て相談センターを設置)
- 新** 障がい児アウトドアチャレンジ応援事業 …… 240万円
(障がい児にボランティアとの自然体験活動の機会を提供)
- 拡** 子育て支援住宅供給事業 …… 1,310万円
(子育て世帯向けの地域優良賃貸住宅を新たに10戸供給)
- 拡** 語学指導を行う外国青年招致事業 …… 5,060万円
(英語教育充実のため小・中学校に派遣する外国人青年を増員)
- 継** 路線バス等高齢者利用促進事業 …… 1億7,420万円
(後期高齢者に路線バス・福島交通飯坂線の運賃無料化を実施)
▶高齢者の社会参加を応援するため「もりんシルバーパスポート」を交付しています
- 拡** 敬老会の開催 …… 2,340万円
(27地区で敬老会を開催し、会場設営経費などを補助)
- 拡** 地域包括支援センター機能強化事業 …… 2,760万円
(新たに6センターに認知症地域支援推進員を配置)

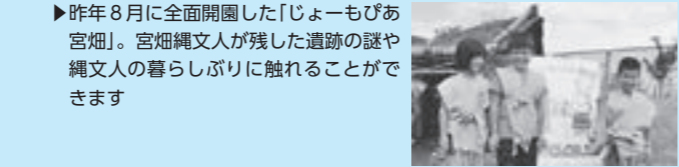
4 活力あふれるまち

- 拡** もりんカフェ支援事業 …… 880万円
(本市産ナシを使ったスイーツコンテストや年3回のフェアを開催)
- 拡** 企業立地促進事業 …… 1,800万円
(企業立地セミナーの開催や企業展示会への出展など)
- 新** 商店街等活性化イベント推進事業 …… 2,160万円
(各地域の商店街などが実施するイベント事業を助成)
- 継** 春の花見山おもてなし事業 …… 4,750万円
(交通誘導やシャトルバス運行などで花見山来訪者をおもてなし)



◀毎年20万人を超える観光客が花見山を訪れ、春の福島市を楽しんでいます

- 新** 全国街道交流会議開催事業 …… 350万円
(第11回全国大会「福島大会」の支援と、街道マップの作成など)
- 新** 2020年東京オリンピック・パラリンピック誘致事業 …… 200万円
(開催競技や事前キャンプの誘致、ホストタウンの取り組みなど)
- 新** 多世帯同居・近居支援事業 …… 300万円
(三世帯同居・近居のための住宅取得費用などを一部助成)
- 拡** 民家環境整備事業 …… 4,430万円
(道路案内看板の新設や説明・案内板の更新、植栽整備など)
- 拡** じょーもびあ宮畑活用推進事業 …… 1,700万円
(小学生の学習での活用推進や多彩なイベントの実施など)



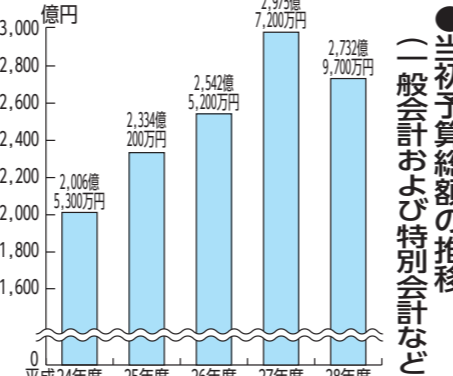
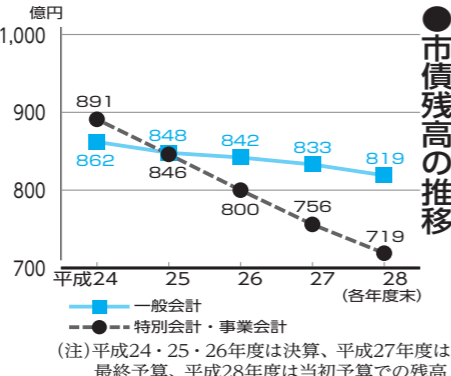
▶昨年8月に全面開園した「じょーもびあ宮畑」。宮畑縄文人が残した遺跡の謎や縄文人の暮らしぶりに触れることができます

5 「次世代の環境」の住みよいまち

- 継** 太陽光発電システム設置助成事業 …… 7,200万円
(住宅用太陽光発電システムの設置費用を一部助成)
- 新** 次世代エネルギーパーク推進事業 …… 130万円
(再生可能エネルギーに関する学習機会拡充や情報発信など)
- 新** 空家対策事業 …… 2,380万円
(空家等対策計画の策定と空き家バンクの整備を検討)
- 継** 街路灯LED化推進事業 …… 4,570万円
(省エネルギー化推進のため、1,000灯をLEDに転換)
- 拡** インターネット運用管理事業 …… 1,940万円
(利用促進のため市ホームページのリニューアルなどを実施)
- 新** オープンデータ推進事業 …… 200万円
(二次利用促進のため、公共データのオープン化に取り組む)
- 拡** 図書館サービスの充実 …… 2,060万円
(図書館資料の充実と知的書評合戦【ビブリオバトル】の開催など)

土地 10,425,885㎡	車両 504台
山林・原野 17,021,742㎡	証券その他権利 279億300万円
建物 963,412㎡	基金 241億600万円

●市の所有財産の状況
(平成27年3月31日現在)

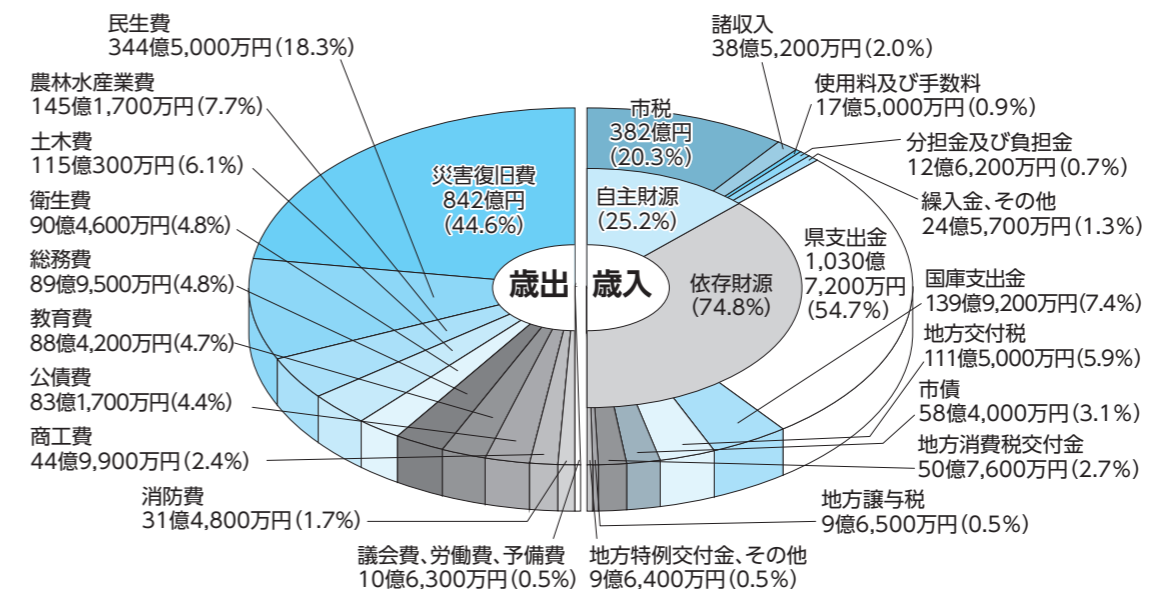


みんなが誇れる県都ふくしまの創造

—平成28年度当初予算—

平成28年度予算の総額は2,732億9,700万円となりました。予算編成にあたっては、「市民主体の市政」を運営し、県都に住む全ての市民が、現在においても、未来においても、住んでよかったと誇れる「みんなが誇れる県都ふくしまの創造」を基本理念とし、「いのちを大切にすまち」や「こどもと高齢者を大切にすまち」など5つの分野の施策に取り組みとともに、健全な財政運営を基調としました。会計別では、一般会計の予算額は1,885億8,000万円、前年度に比べると、216億3,000万円、10.3%の減になりましたが、除染事業費を除いた予算額は923億3,900万円、過去最高となりました。各特別会計を合わせた予算額は591億8,500万円、前年度に比べ1.0%の減、水道事業会計の予算額は111億6,500万円、前年度に比べ38.0%の減になりました。また、平成28年度から地方公営企業法の一部を適用し、下水道事業会計および農業集落排水事業会計は企業会計方式での予算となりました(詳細は下表参照)。

一般会計 1,885億8,000万円



平成28年度 会計別予算額		
会計名	当初予算額	対前年度増減率%
一般会計	1,885億8,000万円	△10.3
特別会計	302億9,200万円	△2.4
企業会計	503億1,500万円	△10.6
国民健康保険事業	1億1,500万円	10.6
飯坂町財産区	1億1,500万円	10.6
公設地方卸売市場事業	3億1,000万円	△9.6
土地区画整理事業	3億5,100万円	△5.7
介護保険事業	238億7,300万円	1.1
庁舎整備基金運用	10億100万円	0.0
後期高齢者医療事業	32億4,100万円	△0.7
青木財産区	200万円	19.3
小計	591億8,500万円	△1.0
水道事業会計	111億6,500万円	△38.0
下水道事業会計	140億7,500万円	(49.7)
農業集落排水事業会計	2億9,200万円	(55.4)
計	2,732億9,700万円	(△8.2)

※下水道及び農業集落排水事業会計は、平成28年度から地方公営企業法の一部を適用し、企業会計方式での予算(収益的支出、資本的支出および特例的支出の合計額)となるため、対前年度増減率は参考値としてご覧ください。

- 一般会計とは？
福祉や教育、土木などの一般的な事業に使われ、市の事業の大部分を賄っている予算のことです。
- 特別会計とは？
特定の事業ごとに分けた方が効率のよいものを、一般会計から切り離して経理する予算のことです。
- 自主財源とは？
市税や使用料、手数料など市が自主的に収入できる財源をいいます。
- 依存財源とは？
地方交付税や国・県支出金など、国や県の意思によって額が決められ、交付または割り当てられる財源のことです。

歳入：市民の皆さんなどが市に納めた税金。市民税や固定資産税、軽自動車税など。
諸収入：市の預金の利息や貸付金の元利収入など。
繰入金：一般会計の歳入を補う財政調整基金や市債の返済に充てる減債基金などから移動したお金。
地方交付税：市の財政力に応じて国からの交付されるお金。その財源は所得税や法人税、酒税など。
市債：市が事業を進めるための借入金。
歳出：災害によって生じた被害の復旧のための経費。
民生費：高齢者や障がい者、児童のための福祉や生活保護のための経費。
農林水産業費：農業や林業の振興を進めるための経費。
土木費：道路や橋、住宅、公園などを整備する経費。
衛生費：健康で衛生的な生活環境を保持するための経費。
総務費：市政を進めるために必要な一般的な経費。